

専用BOX設置マニュアル

ご自身で専用BOXを設置するお客さまはご確認ください。

はじめに

■専用BOX設置

- ・「【kUTMみまもりサポート】専用BOX（Cloud Edge）」は、縦置きができないため、必ず横置きにしてください。縦置きにした場合、放熱ができず機器故障の恐れがあります。

■IPアドレス設定

- ・お客さまNWに設置する「【kUTMみまもりサポート】専用BOX（Cloud Edge）」はDHCP/固定IPアドレス、いずれの環境でもご利用いただけます。
- ・固定IPアドレスで利用する場合、お客さまNWセグメントのIPアドレスを1つご用意ください。
（例：192.168.101.100、10.52.156.100 等）
サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSの情報もあわせてご用意ください。
- ・お客さまNWセグメントが「192.168.252.0/24」である場合、専用BOXは設置できません。
NWセグメントのIPアドレス帯の変更をご検討ください。

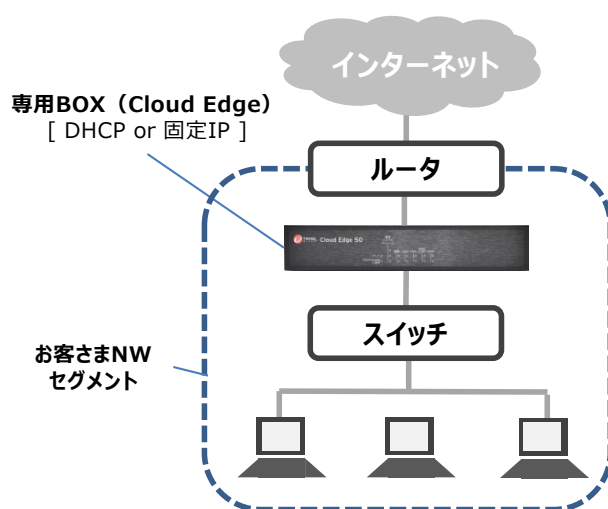
■専用BOXを利用するために必要となる通信先一覧

- ・専用BOXを利用するために必要な通信先は、ファームウェアバージョンによって異なります。
詳しくは下記URLをご参照ください。
<https://business.ntt-east.co.jp/service/cybermimamori/download/requirements.pdf>
- ・工事時に設定ができない場合は、kUTMみまもりサポートサポートデスクにて設定変更を承りますので、工事完了後にご連絡ください。なお、営業時間は9:00～21:00となりますのでご注意ください。
※本設定実施前でも専用BOXは動作しますが、設定までの間スループットが低下する場合がございます。

専用BOX

サービスプラン	専用BOX外観
Lightプラン	
Standardプラン	
Gigaプラン	

設置イメージ



【kUTMみまもりサポート】専用BOX(Cloud Edge)取り付け方法

STEP1 事前準備

以下の準備をお願いします。

- 設定用Windows/Macパソコン(1台)
※推奨ブラウザは、Google Chrome, Mozilla Firefoxです。
- LANケーブル(1本、CAT5以上)
※LANケーブル(2m)は1本Cloud Edgeに同梱されています。
- Cloud Edgeはインターネットに接続しない状態で設定を開始してください。

STEP2 モードの確認

電源をONする前に、機器本体の背面パネルにある切り替えスイッチが「**ブリッジ**」側であることを確認してください。

- Cloud Edge SB/50/SBG3/50G3



切り替えスイッチ

- Cloud Edge 100G3



切り替えスイッチ

STEP3 設定用パソコンの接続

設定用パソコンとCloud Edgeの管理ポートをLANケーブルで接続してください。

- Cloud Edge SB/50/SBG3/50G3



- Cloud Edge 100G3



STEP4 電源ケーブルの接続・電源ON

付属の電源ケーブルを背面パネルに接続します。電源スイッチを押すと、電源LEDが点灯して電源がONになります。

- Cloud Edge SB/50/SBG3/50G3



電源スイッチ

- Cloud Edge 100G3



電源スイッチ

【kUTMみまもりサポート】専用BOX(Cloud Edge)取り付け方法

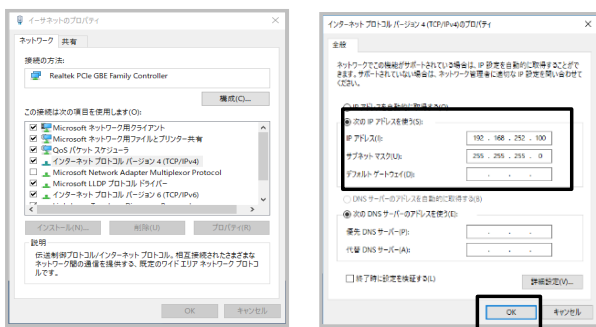
STEP5 設定用パソコンのIPアドレス設定

設定用パソコンのIPアドレスを以下に設定します。
(設定用パソコンを原状復帰するために現在の設定を控えておくようにしてください。)

- IPアドレス:192.168.252.100
 - サブネットマスク:255.255.255.0
- ※デフォルトゲートウェイとDNSの設定は不要です。

例)Windows10の場合

「コントロールパネル」->2「ネットワークとインターネット」->「ネットワーク接続」から「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」を選びます。プロパティを開いてIPアドレス・サブネットマスクを入力し、「OK」をクリックします。



STEP6 コンソールへのログイン

設定用パソコンのWebブラウザで以下のURLにアクセスしてください。
「Cloud Edge On-Premises Console」の画面が表示されます。

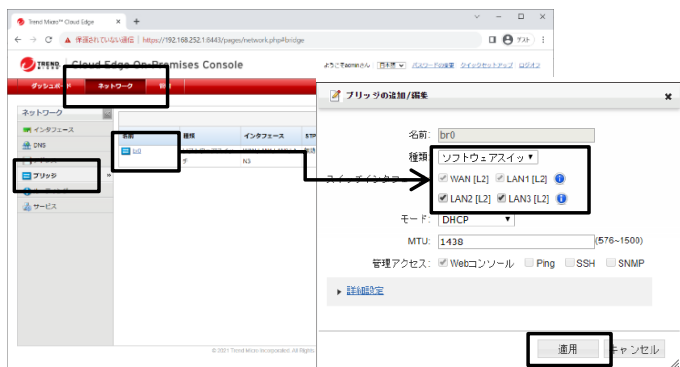
https://192.168.252.1:8443
ユーザ名 : admin
パスワード : adminCloudEdge
※パスワードの「C」と「E」は大文字

- セキュリティに関する警告画面が表示される場合がありますが、接続には問題ありません。P9.「参考 1 : ブラウザ上に証明書エラーが表示された場合の対応方法」に従いアクセスを続行してください。
- クイックセットアップ画面が表示された場合は、画面上部の青字の「Cloud Edge On-Premises Console」のリンクをクリックしてください。

STEP7 ソフトウェアスイッチの有効化

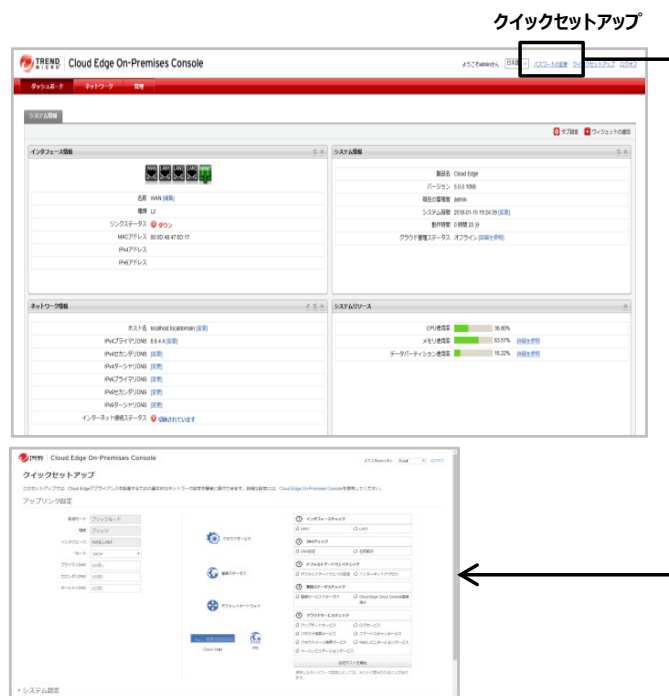
CE50/SBでLAN2・LAN3ポートを使用する場合、設定してください。

ログイン後、画面上部のメニューバーより「ネットワーク」を選択してください。画面左のメニューより、「ブリッジ」を選択後、「br0」をクリックし、「ブリッジの追加/編集」の「種類」を「ソフトウェアスイッチ」へ変更します。次に「LAN2」「LAN3」にチェックを入れ「適用」をクリックします。



STEP8 「クイックセットアップ」への遷移

画面右上より「クイックセットアップ」をクリックしてください。クイックセットアップの画面が表示されます。



- ⇒ **本機を固定IPで利用する場合はSTEP 8へ**
- ⇒ **本機をDHCPで利用する場合はSTEP10へ**

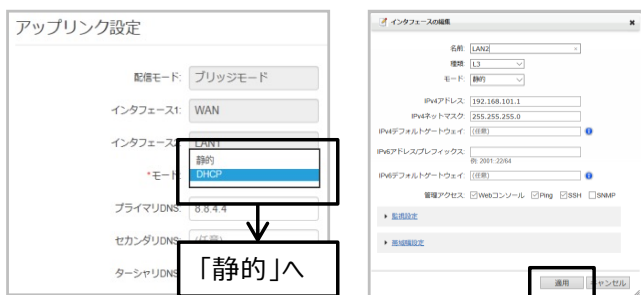
※ファームウェアバージョンによっては、画面が異なる場合があります。

【kUTMみまもりサポート】専用BOX(Cloud Edge)取り付け方法

STEP9 本機の固定IPアドレス設定

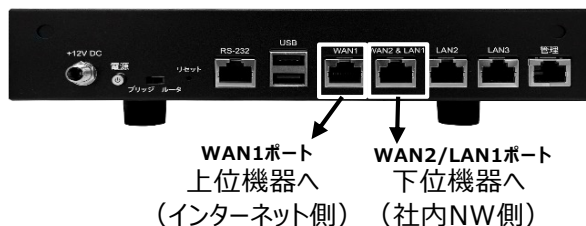
配信モードが「ブリッジモード」であることを確認後、モードを「DHCP」から「静的」に変更し、以下の項目を全て入力し、「適用」を押下してください。

- **IPv4アドレス**：CloudEdgeに割り当てるIPアドレスを入力(例：10.52.156.100)
- **IPv4ネットマスク**：ネットワークのサブネットマスクを入力(例：255.255.255.0)
- **IPv4デフォルトゲートウェイ**：ネットワークのゲートウェイ(ルータ等)のIPアドレスを入力(例：10.52.156.1)
- **プライマリDNS**：ネットワークのプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します
※一般的にはゲートウェイと同じIPアドレス

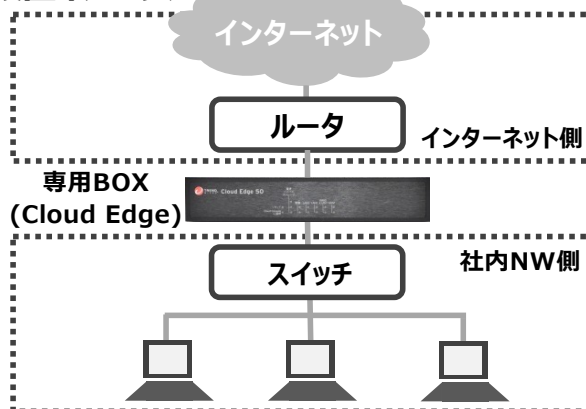


STEP10 上位機器・下位機器との接続

上位(インターネット側)機器(ルータ等)を「WAN1ポート」、下位(社内NW側)機器(スイッチ等)を「WAN2/LAN1」ポートに接続してください。
CloudEdge100G3の場合は、全LANポート使用可能
専用BOXを通過しない通信のセキュリティについてはチェックできません。



<設置イメージ>

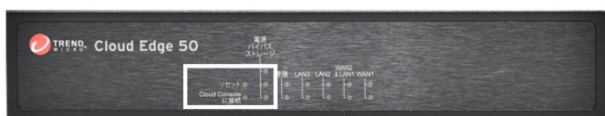


STEP11 LEDの緑点灯を確認

インターネット上のサーバとCloud Edgeが通信していることを確認するために、ステータスLEDが「緑点灯」していることを確認してください。

※ステータスLEDが点灯するまで**5分～10分程度**時間を要する場合があります。

- Cloud Edge SB/50/SBG3/50G3



前面「Cloud Consoleに接続」横のLED

- Cloud Edge 100G3



前面「Cloud Consoleに接続」横のLED

※Cloud Edge Cloud Consoleからの確認

お申し込み時に頂いたメールアドレス宛に送付している案内を元に管理コンソール(Cloud Edge Cloud Console)へログインいただくと、「ゲートウェイ」よりCloud Edgeとインターネット上のサーバとの接続ステータスを確認いただけます。

※ログインID・初期パスワード変更URLは利用開始希望日にメールにて送付いたします。



「オンライン」であることをご確認ください。

Cloud Edgeをインターネットに接続してから、オンラインに遷移するまでに**10分程度**時間を要する場合があります。

【kUTMみまもりサポート】専用BOX(Cloud Edge)取り付け方法

STEP12 参考:証明書の取得とインストール

※メール暗号化対策を「OFF」に設定した場合は、この作業は不要です。

暗号化したメール送受信（POP3S/SMTPTS/IMAPS）に対するセキュリティ検査を実施するため、専用BOXの証明書を端末にインストールします。

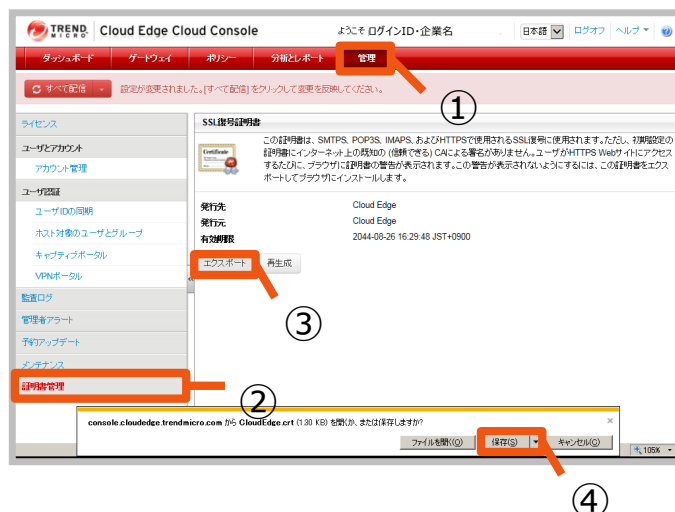
証明書がインストールされていない端末でメール送受信を行った場合、当該端末でのメール送受信が失敗する場合があります。

メールを送受信する端末が複数ある場合は、それぞれの端末に証明書のインストールが必要になります。

端末への証明書インストールは以下を参照ください。

<https://business.ntt-east.co.jp/service/cybermimamori/download/certificate-install-manual.pdf>

※Cloud Edge Cloud Consoleから証明書の取得方法



- ① 管理をクリック
- ② 証明書管理をクリック
- ③ エクスポートをクリック
- ④ 端末に保存（デフォルト名CloudEdge.crt）
- ⑤ 各端末へコピーインストール

STEP13 設定用パソコンの原状復帰

STEP5で変更した設定用パソコンのIPアドレス設定を元に戻します。

※メモで控えておいた設定用パソコンの元のIPアドレス等の情報を設定します。

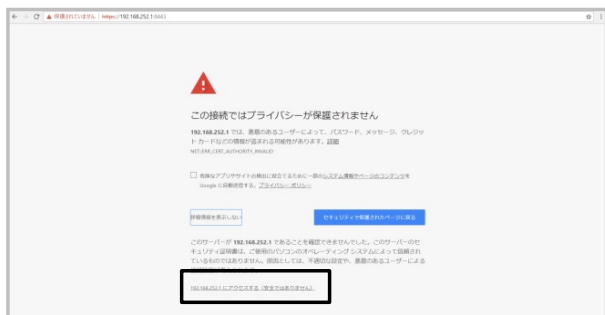
【kUTMみまもりサポート】専用BOX(Cloud Edge)取り付け方法

参考 1

ブラウザ上に証明書エラーが表示された場合の対応方法

■ Google Chromeの場合

「詳細設定」を押下した後、「192.168.252.1にアクセスする」を押下してください。



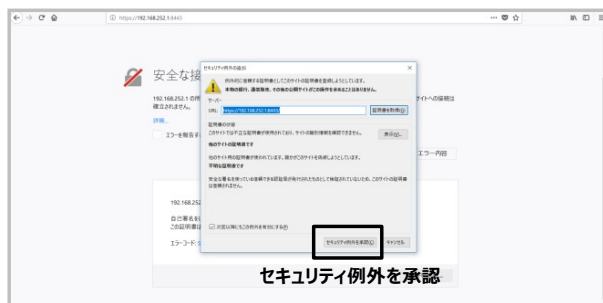
192.168.252.1にアクセスする

■ Mozilla Firefoxの場合

「エラー詳細」を押下した後、「例外を追加」を押下してください。「セキュリティ例外の追加」というポップアップが表示されるため、「セキュリティ例外を承認」を押下してください。



例外を追加



セキュリティ例外を承認

【kUTMみまもりサポート】専用BOX(Cloud Edge)取り付け方法

参考2 専用BOX(Cloud Edge)初期化方法

ご注意事項

初期化により、Cloud Edge本体のファームウェアが工場出荷時の状態に遷移するため、Cloud Edge Cloud Consoleからファームウェアのバージョンアップ作業が必要となる場合があります。

※ファームウェアバージョンアップには1時間～1時間半程度要する場合があります（バイパス機能によりバージョンアップ中もインターネット接続は維持されますが、再起動等により瞬断が発生する場合があります）。

STEP1 リセットボタン押下

- Cloud Edge背面のリセットボタンを細い棒で約10秒間押します。
- リセットランプがオレンジ点灯します。
- 点灯開始から約15分待ちます。（CESB/50/SBG3/50G3では再起動時にピープ音が発生します。）

■ Cloud Edge SB/50/SBG3/50G3背面 リセットボタン



■ Cloud Edge 100G3 背面 リセットボタン



参考3 ファームウェアの手動バージョンアップ方法

※デフォルトは自動アップデート設定です。

STEP1 CECCへのログイン

- Cloud Edge Cloud Consoleへログインし、画面上部のメニューバーより「ゲートウェイ」をクリックします。
- 表示されたゲートウェイ管理画面から、「ゲートウェイ名」をクリックします。



ゲートウェイ名

STEP2 アップデート有無確認

- 左メニューバーから「アップデート」をクリック。
- 「利用可能なアップデート」に最新のアップデート情報があれば「今すぐアップデート」をクリックします。※無ければ最新の状態です。



STEP3 待機

アップデート中は「パッチをインストールしています。しばらくお待ちください」とメッセージが出ます。



STEP4 完了確認

アップデートが完了すると「アップデートに成功しました。」というメッセージが表示され、「インストール済みのアップデート」に適用されたアップデート情報が表示されます。



【kUTMみまもりサポート】専用BOX(Cloud Edge)取り外し方法

STEP1 電源OFF・電源ケーブルの取り外し

本体裏面の電源ボタンを押し、数分後に電源LEDが赤色に点灯していることを確認します。

■ Cloud Edge SB/50/SBG3/50G3



■ Cloud Edge 100G3



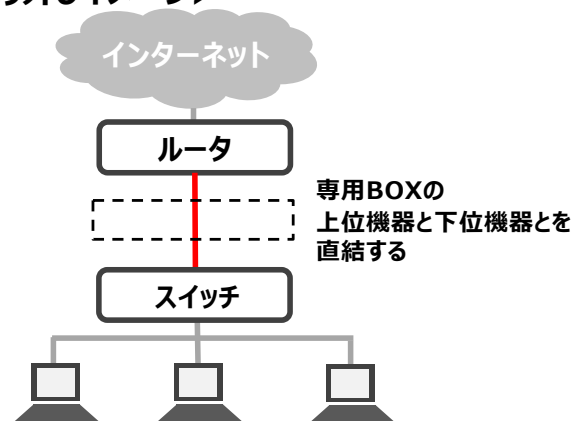
- CloudEdge電源が切れた状態でも、CloudEdgeの上位(インターネット側)と下位(社内NW側)との通信は継続してご利用いただけますが、CloudEdgeによるセキュリティ検査はご利用いただけません。

STEP2 上位機器～下位機器の直結

本体裏面のWAN1ポートおよびWAN2/LAN1ポートからケーブルを外し、いずれかのケーブルを用いて上位機器と下位機器を直結するように接続しなおしてください。



<取り外しイメージ>



- ケーブルを外すと、下位機器からのインターネット接続ができなくなりますのでご注意ください。